

みどころいっぱい琴引浜

① 琴引浜鳴き砂文化館



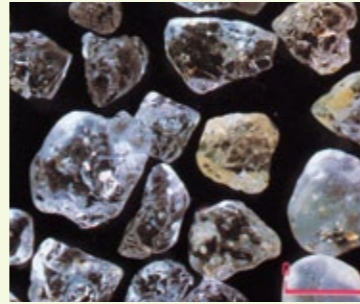
琴引浜鳴き砂文化館は、鳴き砂をテーマにした資料館です。館内には世界各地の鳴き砂のほか、微小貝やウミガメ、海岸の漂着物なども展示しています。そのほか各種体験コーナーも用意されています。
(問)0772-72-5511
(9~17時/火曜休/大人300円)

② 小浜海水浴場



小浜海水浴場は網野町小浜の海水浴場で、西の八丁浜とあわせて約4kmのロングビーチを形成しています。夏の海水浴客のほか1年を通してサーファーでにぎわっています。砂は貝殻などの生物の破片が多く、ふんわりとしています。琴引浜の砂と比べてみてください。

③ 水晶浜



水晶浜には通常の石英より高温・高圧の状態に晶出する、両錐形である高温石英の自形をとどめた石英粒がみられます。浜の周囲にはこの高温石英が含まれる凝灰岩の地層がみられます。

④ 白滝神社



大国主命がまつられています。昔、大国主命が出雲の国より舟で通りかかったとき舟底に穴が空いて、今にも沈むという時、サザエが穴にはまって助かった、という言い伝えがあります。それ以来、この辺にはイガのない丸いサザエがいるといわれています。また、境内には北丹後大地震で壊れた鳥居がそのままの形で保存されています。

⑤ 琴引浜



琴引浜は鳴り砂の浜として古くから知られており、細川忠興や与謝野晶子・鉄幹夫妻などの詩にも歌われています。一時期砂の鳴きが悪くなったこともありましたが、地元の人々の努力により、鳴き砂の浜は今日まで守られています。砂浜の上を擦るように足で歩くと、キュッ、キュッと音がします。ただし、雨で砂が濡れていると鳴きません。

琴引浜の白滝



岩盤上の砂丘に降る雨水が砂丘にしみこみ、地下水脈になり岩盤を流れ下り、海岸の崖から流れ出る水が白滝です。

琴引浜の露天風呂



琴引浜には、源泉かけ流しの露天風呂があります。入浴は無料で、4月下旬から11月上旬の間利用できます。
【注意事項】
脱衣場はなし。混浴で混雑時は水着着用願います。シャンプー・石けんの使用は禁止、砂を流してから入浴してください。

琴引浜の太鼓浜



琴引浜の中心付近は、足で踏んだり、こぶしでたたくと「ドンドン」と鳴きます。このことから、特に「太鼓浜」と呼ばれています。

琴引浜の微小貝



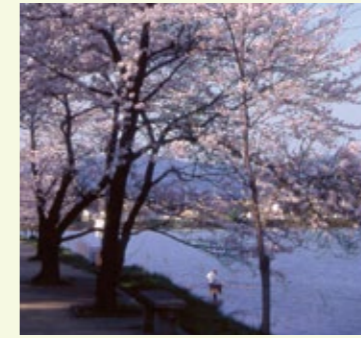
大きさが数ミリの小さな貝を「微小貝」と呼んでいます。琴引浜には数百種類もの微小貝が生息しているといわれます。

掛津砂丘



琴引浜の南には、なだらかな丘陵がみられます。この丘陵は12万年前に形成された古砂丘や、比較的新しい時代に形成された新砂丘でできています。琴引浜の砂は、この砂丘を供給源としています。

⑥ 離湖公園



離湖は京都府で最大の淡水湖です。この池の周囲には多くの遺跡が確認されています。また、沿岸には桜が数多く植えられ、春には花見も行われています。

クイズの答え

- ①天然記念物・名勝、鳴き砂の浜としては全国で初めての指定です。
- ②答え：2番のゴマノハグサ科です。漢字で洞庭藍(トウテイラン)と書きます。琴引浜を東限として鳥取県までの海岸沿いに自生する多年草です。中国の洞庭湖の水のような、るり色の花が咲くことから名づけられたといわれています。

ジオコラム①

鳴き砂はなぜ鳴くの？

琴引浜の砂の主成分は石英です。石英の砂粒は、きれいな水や空気の中で充分洗われると、表面の摩擦係数が極端に大きくなるという特性があります。

そのため、触れたり踏んだりして砂に力が加わったとき、ある限界まではグッともちこたえますが、さらに大きな力が加わると耐えきれずに動きます。動けば加わった力が開放されて砂は静止します。これを繰り返すことによって、砂粒がばらばらでなく一団となって振動して音が出るわけです。

反対に、タバコの灰などで少しでも汚れると砂はたちまち鳴かなくなります。普通の砂は石英の含有量が少ないとともに、たいてい砂粒の表面が汚れていて鳴くことはありません。



ジオコラム②

琴引浜の地質

琴引浜は掛津の集落から海岸へ出て太鼓浜の岩石の礫を中心として、東西1.5km以上にわたって砂浜が連なります。西端の小浜側の岩石は流紋岩質の凝灰岩や溶岩ですが、太鼓浜から東と南の「山地・岩石」は浅海成の地層に凝灰岩や溶岩を挟みます。「古砂丘」は最終氷期(12万年前~1万年前)の砂丘砂のことですが、多くは12万年~10万年前のもので、「新砂丘」は1万年前以降の現在の砂丘砂です。

